

# 藤沢市都市マスタープラン（素案） 概要版

2025年（令和7年）12月 藤沢市 計画建築部 都市計画課



## 藤沢市都市マスタープラン（素案）について

「藤沢市都市マスタープラン」は中長期的な視点に立ち、都市計画の基本的な方針を定めたものです。本市を取り巻く環境も大きく変化しつつあることを踏まえ、本計画がこれからの都市づくりの方針を示すことができるよう、改定に向けた取組を進めています。この度、「藤沢市都市マスタープラン（素案）」を取りまとめましたので、皆さまにご覧いただくとともに、素案に対するご意見を募集します。

## I. ビジョン ～都市として目指す姿～

### 都市ビジョン

## 自立するネットワーク都市

つながりたくなる魅力がある都市であること  
つながることで魅力が高まる都市であること  
つながりを通じてひとと地球の未来へ貢献する都市であること



### ひとは

一人ひとりが自由に交流連携しながら  
心身ともに健やかで  
年齢や性別、国籍等にかかわらず  
誰もがいきいきと暮らせるまちを形成します

### 地域では

連携によりきめ細かなまちづくりを進め  
地域共生社会のもと安心して生活ができる  
暮らしが豊かな個性ある地域を形成します

### 広域における本市では

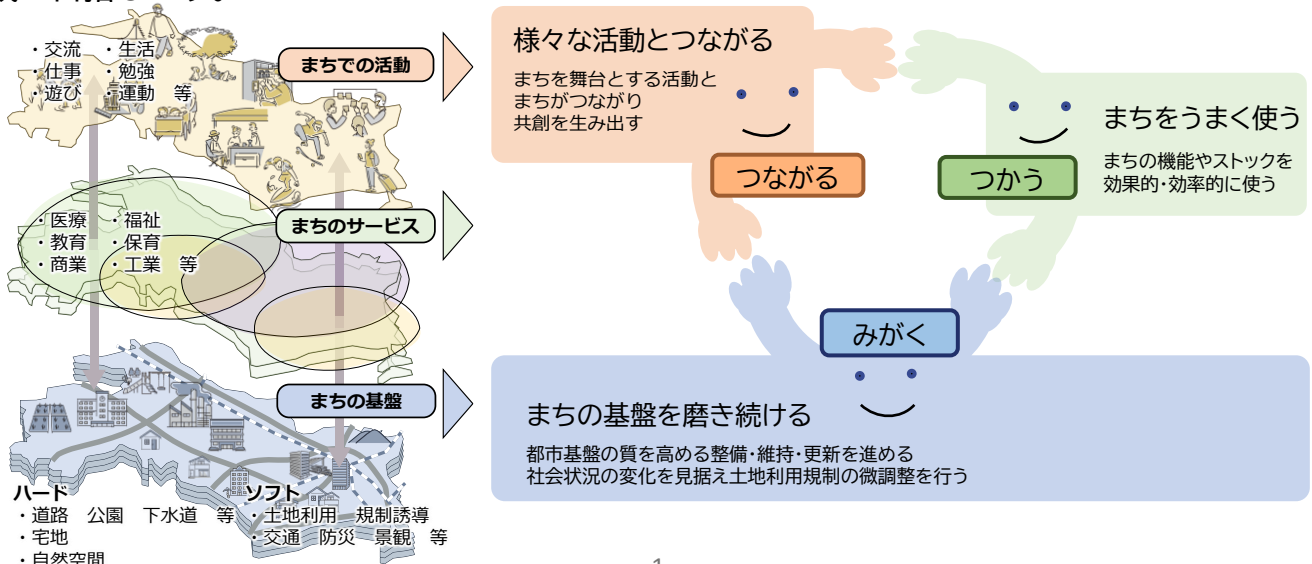
都市の役割や個性に応じた  
機能分担と広域連携により  
都市機能の強化を図り  
持続的に都市活力を創出し続けます

### 環境共生に対し本市では

自然環境と暮らしが寄り添って  
脱炭素社会が実現し  
生物多様性が回復に向かう  
未来に貢献します

### 都市ビジョンの実現のポイント

様々な活動とつながるという「つながる」と、まちをうまく使うという「つかう」から生まれる新たな価値やアイデアをまちの基盤を磨き続けるという「みがく」に積極的に取り組み、魅力あるまちの形成を目指します。



「つながる」「つかう」「みがく」の取組から形成していく魅力あるまちのビジョンを「みんなのまちビジョン」として示します。

**住む人、働く人、訪れる人、活動する人、みんなで創る「みんなのまちビジョン」**  
まちを舞台に多様な活動が展開される魅力あるまちをめざします。

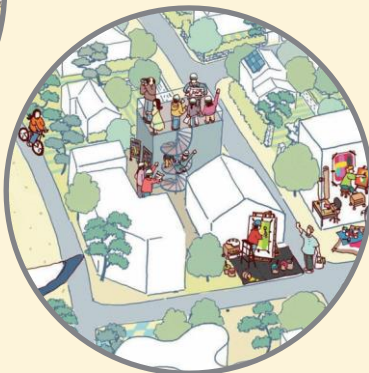


まちなかには多様な人が集まり、活動し、交流や文化・ビジネスを育み、ますます魅力が高まっています。



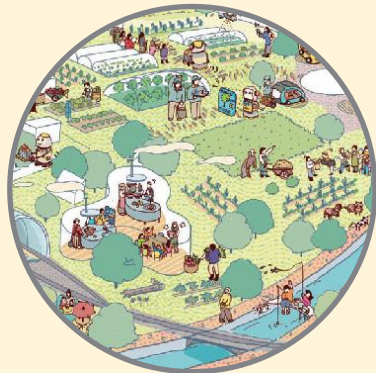
まちなかに新しいモビリティが増えて、自分に合った乗り物で出かけています。

災害時の対策も各地区で考えられ、いざという時の備えができています。



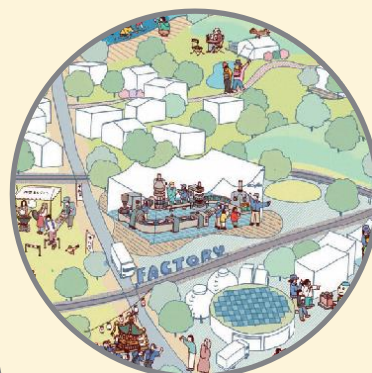
住民と企業がアイデアを出し合い、地域の環境と調和する新しい産業やまちづくりが始まっています。

緑や水辺など自然資源や新しい技術を生かしたライフスタイルが広まり、色んな人が農と食に関わり楽しんでいます。



まちの拠点では、道路にも沿道のお店にも快適に過ごせる場所が増え、にぎわいが増しています。

ドローンタクシーや自動運転のモビリティなど新しい技術が徐々に実装され、より便利になっています。



企業や工場がまちに開かれ、市民との盛んな交流が、新たな学びやビジネスを生んでいます。

将来都市構造は、都市内外の連携の軸となる都市軸を南北方向と東西方向に格子状に構成し、その結節部に都市拠点を配置した骨格を継承し、交流の場となる『拠点』、連携の軸となる『交通体系』、自然環境や地形が織りなす『自然空間体系』、様々な都市活動・産業活動の場となる『市街地等の構成』の4つの要素で構成し、集約型都市構造の構築を目指します。

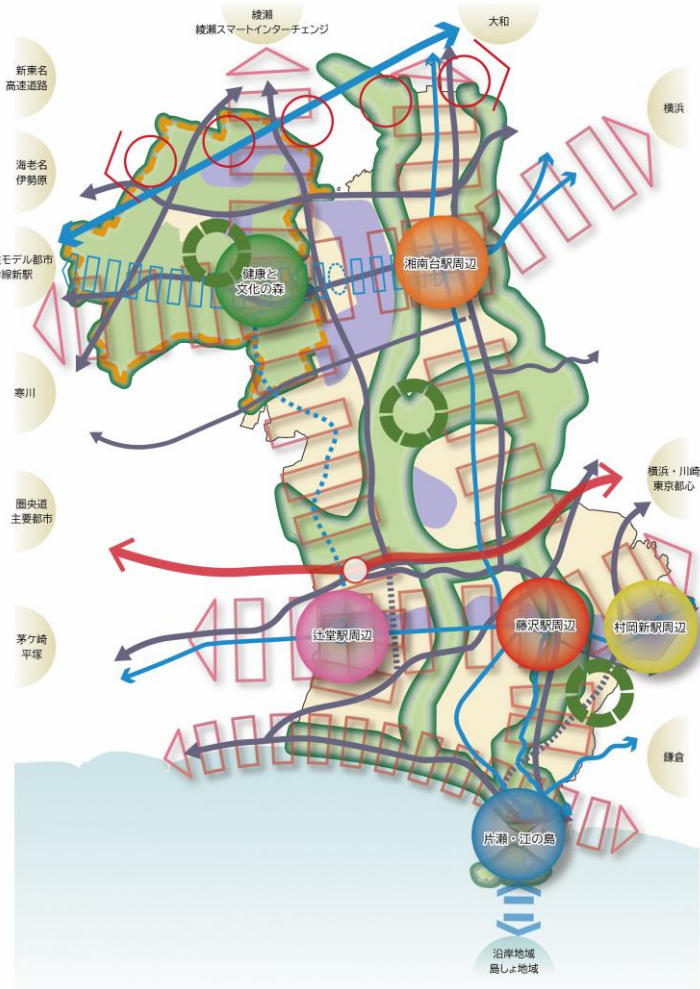
- 【凡例】

  - 都市軸
  - 拠点
  - 都市拠点
  - 交通体系
  - 鉄道
  - 鉄道（計画・構想）
  - 基幹交通（計画・構想）
  - 自動車専用道路
  - 自動車専用道路（計画・構想）
  - 主要幹線道路等
  - 主要幹線道路等（計画・構想）
  - 海上交通
- 市街地等の構成

  - 住居系の市街地
  - 産業系の市街地
  - 西北部地域

自然空間体系

  - 水と緑のネットワーク
  - 海面
  - 三大谷戸

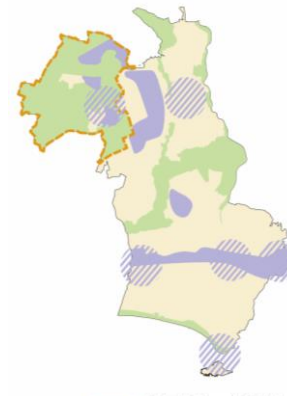
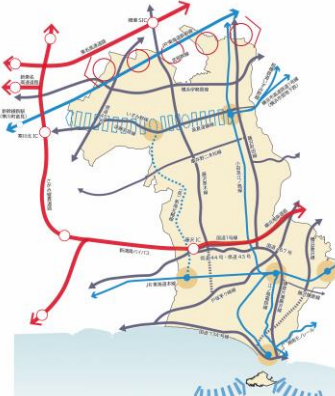


拠点

交通体系

自然空間体系

市街地等の構成



- 都市拠点
- 地区拠点
- 身近な場を創出する地域
- 都市軸

- 鉄道
- 鉄道（計画・構想）
- 基幹交通（計画・構想）
- 自動車専用道路
- 自動車専用道路（計画・構想）
- 主要幹線道路等
- 主要幹線道路等（計画・構想）
- 海上交通
- 都市拠点

- 水と緑のネットワーク
- 三大谷戸
- 河川
- 海面
- 市街地

- 住居系の市街地
- 産業系の市街地
- その他の地域
- 西北部地域

広域的な拠点である「都市拠点」、日常生活圏における拠点である「地区拠点」を形成します。また、日々の暮らしやすさを高める場として「身近な場（サイト）」の創出を促進します。

ラダー型の交通軸を形成し、公共交通網を維持・強化しながら、自家用車に過度に依拠せず誰もが移動できる都市を目指します。

海と川、台地等の多彩な自然空間は適切に維持・保全・活用していきます。市街地でも自然環境の持つ機能を積極的に取り込み、自然と共生し、みどりの創出・充実を目指します。

長期的展望のもと成熟社会にふさわしい市街地の更新と質的向上を目指します。都市活力向上のため、集約型都市構造の実現に寄与する新たな市街地を、西北部地域に計画的に創出します。

目標年次

2050年(令和32年)とします。

## Ⅱ. プラン ～ビジョンを実現するための方針～

### 都市プラン（都市づくりの基本方針）

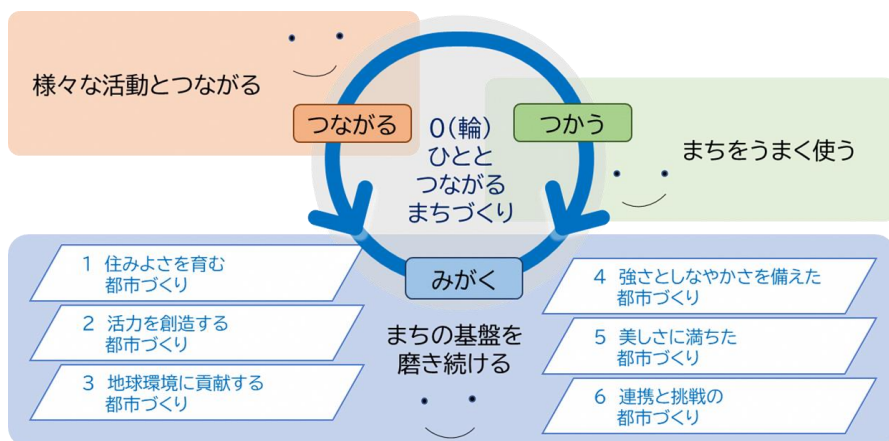
「自立するネットワーク都市」を実現するため、本計画の主要となるテーマごとに設定した基本方針により都市づくりを進めます。

#### 0（輪） ひとつつながるまちづくり

～活動をまちづくりにとりこみ多様な主体との連携を促進する～

「ひとつつながるまちづくり」をベースとして、様々な活動がまちと「つながる」、まちをうまく「つかう」から生まれる新たな価値やアイデアを積極的に取り込み、まちの基盤を「みがく」1から6までの基本方針をかけ合わせながら都市づくりを進めます。

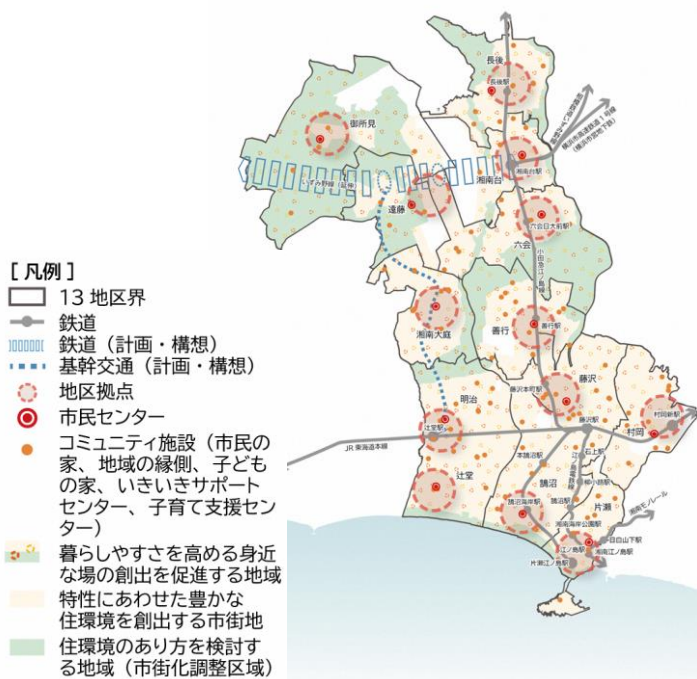
本市と多岐にわたって関わる、関わろうとするひとと手を取りあい連携し「輪」となって、未来へつながるまちづくりを実現していきます。



#### 1 住みよさを育む都市づくり

～身近な暮らしを支え、健やかで心豊かに暮らすことのできる都市を形成する～

- (1) 様々な暮らしの圏域で行うきめ細かなまちづくり
- (2) 日々の暮らしを支えるまちづくり
- (3) 地域の交流や活動を支える身近な場を創出するまちづくり
- (4) 多様性を尊重した安全・安心なまちづくり
- (5) 地域の特性にあった住みよさのあるまちづくり



#### 2 活力を創造する都市づくり

～活力を維持・活性化し新たな価値・活力を創出する～

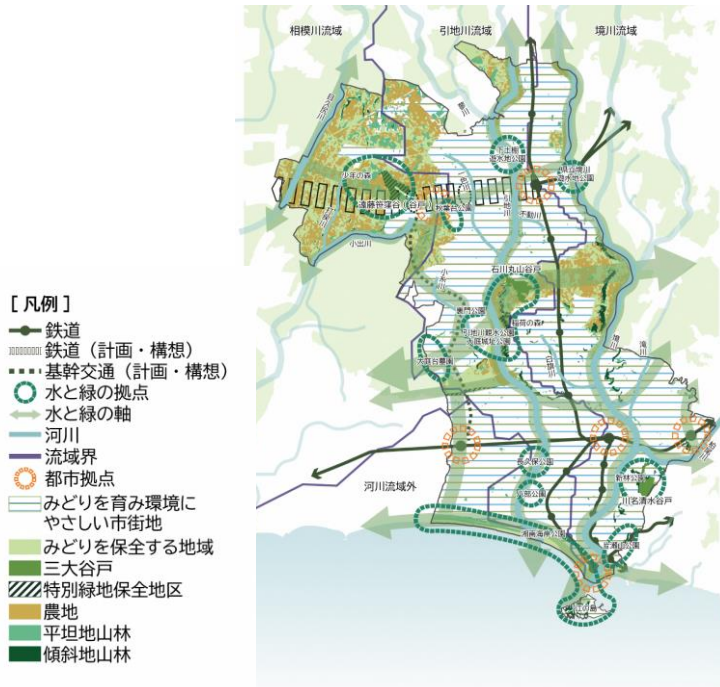
- (1) 都市拠点の個性を磨き、活力を生み続けるまちづくり
- (2) 産業機能を活性化させるまちづくり
- (3) にぎわいにつながる活気を高める場づくり



## 地球環境に貢献する都市づくり

～自然のもたらす潤いを守り・生かして、都市や地球の環境再生に寄与する～

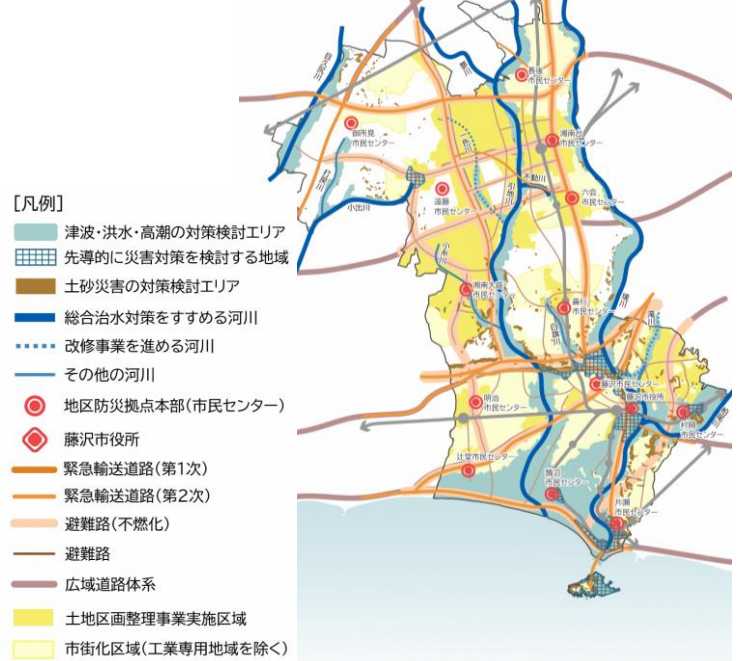
- (1) 骨格的な自然空間を保全・再生するまちづくり
- (2) みどりを育み共生するまちづくり
- (3) 環境にやさしい持続可能なまちづくり



## 強さとしなやかさを備えた都市づくり

～日頃からのまちづくりを都市の強靱さにつなげる～

- (1) 主体間連携による防災・減災まちづくり
  - ・地域防災まちづくり
  - ・地震、津波、風水害への備え
- (2) 復興の事前準備を推進するまちづくり
- (3) 都市機能が持続的に発揮できるまちづくり



## 美しさに満ちた都市づくり

～これまでに築いた資源を磨き続け、洗練された都市を継承する～

- (1) 湘南・藤沢景観を育むまちづくり
- (2) 未来を見据えて再構築するまちづくり
- (3) 愛着や誇りを生む魅力を高めるまちづくり



## 連携と挑戦の都市づくり

～まちづくりの新たな展開や可能性を高め、前に進んでいく～

- (1) 多様な高次都市機能との連携によるまちづくり
- (2) 社会課題を起点として連携し挑戦するまちづくり
- (3) 広域的なネットワークとデジタルインフラの整備と連携・交流の促進



## 13地区プラン（まちづくりの基本方針）

13地区プランでは、全地区共通で取り組むまちづくりの基本方針を示すとともに、各地区プランでは、身近な地域のまちづくりの基本方針として、地区の特性に応じたまちづくりの方向性等を示します。

地域のまちづくりの熟度・機運に応じて、身近な地域のまちづくりを積み重ねることにより、個性あるまちの形成を進めます。

### 基本 方針

#### 地区まちづくりの基本方針

～地区まちづくりを支えるまちの基盤の維持・強化～

本市の13地区では、地区のまちづくりの経緯等により人口推移の傾向は、それぞれ異なり顕著化するとともに、地区の特性や課題もそれぞれの特色があります。

このような変化に対応するため、これまで進めてきた市民主体の13地区別まちづくりを生かし、全地区共通となる土地利用や道路・交通基盤の方針をベースにしつつ、地区の特性に応じたまちづくりを進め、都市機能の維持・充実を図ります。

#### （1）地区まちづくりの推進

各地区プランは、地域住民や多様な主体が進めるまちづくりの方針として、個性あるまちの形成を目指し、地区で持つまちの特性や課題を踏まえ、豊かな地域資源を生かしながら、身近な地域のまちづくりを進めます。

#### （2）全地区共通で進める地区まちづくりの方針

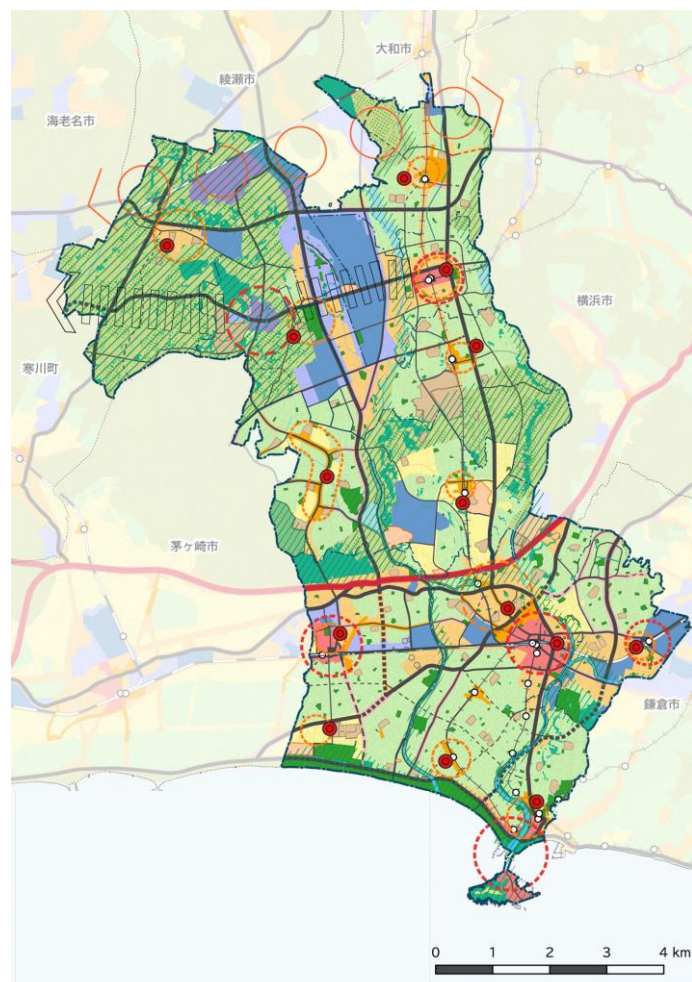
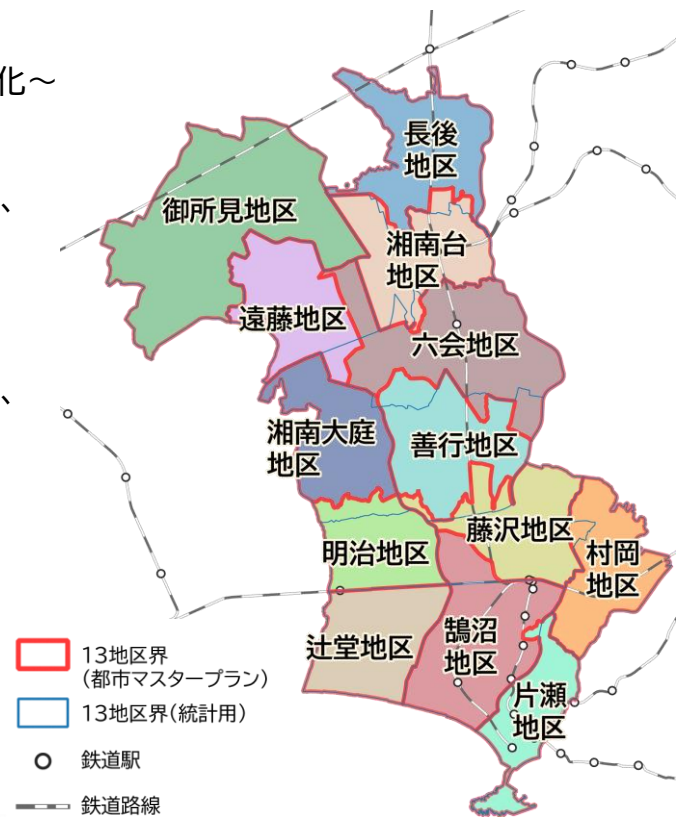
13地区まちづくりを進めるにあたり、土地利用と道路・交通基盤に係る共通の方針を示します。

#### 適切な土地利用の誘導

- 住居系ゾーン
- 自然・田園等のゾーン
- 産業系ゾーン

#### 道路・交通基盤の整備

- 幹線道路
- 生活道路
- 公共交通



## 各地区プラン 地区まちづくりの方針

### 片瀬地区

歴史の薫りと潮の香りがただよう  
ふれあいのまち 片瀬・江の島

- ・暮らしと観光交流の調和・共存のための機能更新・充実
- ・暮らしの利便と観光交流を支える交通環境の充実
- ・閑静な住宅地としての住環境の維持と生活利便性の向上
- ・災害に備えた取組の推進

### 鵠沼地区

緑と海と人が輝くまち「湘南ふじさわ鵠沼」

- ・都市拠点、地区拠点周辺における、更なる機能集積と活性化の促進
- ・地区内外の移動と中心市街地の活性化を支える交通環境の整備
- ・地域の特性に応じた住環境の維持・保全
- ・防災まちづくりの促進

### 辻堂地区

歴史と緑と潮風のかおる、健やかなまち“湘南辻堂”

- ・辻堂にふさわしい緑とゆとりある住環境の維持・充実
- ・地区の骨格であり地区間連携を促進する交通ネットワークの形成
- ・災害に強く、安全・安心に暮らせる地区まちづくり
- ・湘南海岸・県立辻堂海浜公園等を中心とした水と緑によるレクリエーション・交流ネットワーク形成

### 村岡地区

ふれ愛 ささえ愛

絆ではぐくむ“輝ら里”むらおか

- ・村岡新駅設置と合わせたまちづくり
- ・安心して暮らし続けられる住環境の維持・向上
- ・災害に強い市街地の形成
- ・地域資源を生かしたゆとりと潤いと活気のある住宅地の創出

### 藤沢地区

歴史と文化が息づく、湘南藤沢の都心部拠点

- ・都心にふさわしい拠点の維持・再生
- ・安全で良好な住環境の維持・向上
- ・命と財産を災害から守るまちづくりの推進
- ・都心部での貴重な緑の保全・創出とネットワークづくり
- ・歴史・文化を受け継ぎ、新たな魅力と文化を育むまちづくり

### 明治地区

明るく楽しい未来を創るまち、めいじ

- ・安心して暮らせる良好な住環境の維持・向上
- ・広域幹線道路整備と地区内道路網の充実
- ・城南の斜面緑地、引地川、歴史文化的な景観の維持・継承

### 湘南大庭地区

住みたい 住み続けたいまち 湘南大庭

- ・色々な人々が暮らし、集い、助け合うことができるまち
- ・誰もがいくつになっても楽しみを見つけられるまち
- ・湘南ライフタウンらしさを内と外へ発信し続けられるまち

### 善行地区

みんなが元気で、誰にもやさしい 坂のまち

- ・地区の特徴である坂の地形等を生かした土地利用の推進
- ・安心して、移動しやすい道路空間や交通環境の整備
- ・石川丸山緑地や引地川を中心とした緑の保全・活用

### 六会地区

素的なふるさと 六会

- ・地区の特性を生かしたまちづくりの推進
- ・生活の利便性を確保し、移動しやすい道路空間や交通環境の整備
- ・引地川・境川や農地を中心とした緑の維持・保全
- ・安全・安心の向上に向けた治水対策・浸水対策の推進

### 湘南台地区

川と緑に囲まれ、豊かな文化を育て、  
みんなで創るまち湘南台

- ・湘南台駅周辺におけるウォークアブルでにぎわいと魅力のある都市拠点形成の推進
- ・地区内外を安全で快適に移動できる交通環境づくり
- ・貴重な自然環境や公園・広場の維持・充実
- ・地域住民等との連携による良好な住環境の維持・充実

### 長後地区

さあつくろう!まちの輪・ひとの和・みどりの環

- ・長後駅周辺におけるにぎわいの充実と歩行・交通環境の改善
- ・営農環境の保全と田園地域の活性化
- ・地域の実情に応じた住環境の維持・改善
- ・引地川・境川沿いの自然環境を生かした場づくり
- ・地域住民等による身近な交流空間や街なみづくり

### 遠藤地区

“人と自然がいきづくまち” 夢のあるまち遠藤

- ・「健康と文化の森」を中心とした質の高い拠点空間の形成と、交流の創出
- ・生産性向上に向けた農地の保全・活性化と、生活施設整備による生活環境の向上
- ・地区内外の連絡を強化する道路網の形成と、公共交通の利便性向上
- ・水・緑空間の保全・創出

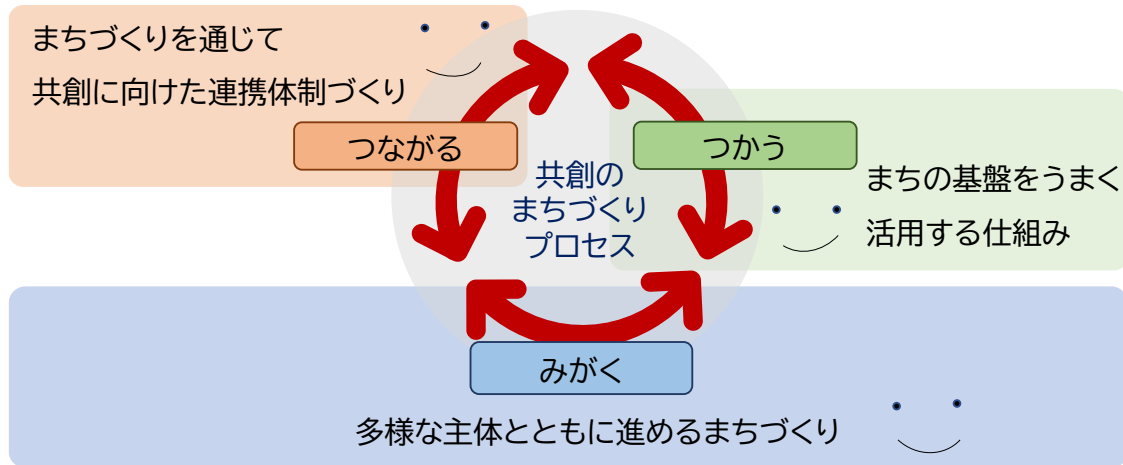
### 御所見地区

住んで、見て、歩いてわかるまちの良さ

- ・新産業の森における産業系土地利用の計画的誘導
- ・既存住宅地の維持及び生活環境の向上
- ・農地の保全及び農業振興・活性化の促進
- ・道路交通ネットワーク形成の推進と、公共交通の維持・充実
- ・水・緑空間の保全・創出

### Ⅲ. プロセス ～プランを実行する進め方～

「Ⅱ プラン」で描いたまちづくりを推進するため、「つながる」「つかう」から生まれる新たな価値やアイデアを「まちの基盤」を「みがく」に積極的に取り込むことを目指して「つながる」「つかう」「みがく」を連環しながら共創によるまちづくりを進めます。



#### 進行管理

都市の動向や施策の進捗状況を把握し、市内の都市づくりや分野別計画における施策の推進とともに、広域的な都市づくりにおいても本計画を踏まえた関係都市との連携・調整を促進します。

## 藤沢市都市マスタープラン（素案） について 皆様のご意見を募集します

#### ■素案の閲覧方法

- ①都市計画課、市役所総合案内、市政情報コーナー、各市民センターでご覧ください。
- ②ホームページにてご覧ください。

#### ■素案の説明

##### 説明会の開催

下記にて説明会を開催いたします。  
※参加者情報の把握のため、事前に申請をお願いいたします。詳しくはホームページをご覧ください。

開催場所	日時
湘南台市民センター第1談話室	12月11日（木） 午後7時から
市役所本庁舎5-1・5-2会議室	12月20日（土） 午前10時から
市役所本庁舎5-1・5-2会議室	12月23日（火） 午後7時から

##### 動画の公開

YouTubeにて説明動画を公開します。説明会のご参加が難しい方は、ホームページからご覧ください。

#### ■意見等の提出

件 名	藤沢市都市マスタープラン（素案）
意見等を提出できる方	市内在住・在勤・在学の方 市内に事業所等を有する方 その他利害関係者
提出締切	2025年（令和7年）12月5日から 2026年（令和8年）1月5日まで（必着）

##### 提出方法

- ①書面に住所、氏名及び「意見等を提出できる方」のいずれに該当するかをご記入の上、都市計画課に郵送・FAXまたは持参してください。持参いただく場合は、月曜日～金曜日午前8:30～午後5:15（12月29日～1月3日及び祝日を除く）にお願いします。
- ②ホームページから提出してください。（電子提出）  
※電話や来庁（口頭）による受付は行いませんので、ご了承ください。

#### ■ホームページの案内

藤沢市都市マスタープランの改定について

<https://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/tosikei/tosimasukaitei.html>

